

通学路の安全対策について

～ウェアラブルカメラ導入による改善状況について～

【事業概要】

登下校中の児童に小型カメラ（ウェアラブルカメラ）を付け、普段の通学の様子を撮影し、見通しの悪い交差点や幅の狭い歩道、通勤時間帯の交通量が多い場所などに加え、大人の目線では見えにくい箇所がないか点検しました。課題のある箇所だけでなく、子どもの危険な行動なども把握することができています。

＜改善箇所について＞

令和4年度は、全小学校の通学路を各1路線ずつ撮影、関係機関で共有した結果、約100箇所の課題箇所を発見し、40箇所について対応しました。

対応内容については、カラー舗装、グリーンベルトの塗装塗り直し、フットマークの設置、ガードパイプの設置、看板等の設置などであり、残りの約60箇所については、現在対応中あるいは今後対応予定であります。



今年度は、各小学校に学期に1回以上は映像を撮影していただき、SDカードによるデータの提出を依頼しているところであります。